

23年行政事業レビューシート (環境省)

事業名		国連大学拠出金		担当部局庁	総合環境政策局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度		平成15年度開始		担当課室	環境教育推進室		環境教育推進室長代行	
会計区分		一般会計		施策名	8-4 環境教育・環境学習の推進			
根拠法令(具体的な条項も記載)				関係する計画、通知等	我が国における「国連持続可能な開発のための教育の10年」国内実施計画			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		平成14年のヨハネスブルグサミットにて我が国が提案し、国連で決議された「国連持続可能な開発のための教育の10年」の推進のため。(持続可能な開発のための教育(ESD)とは、持続可能な社会の実現を目指し、一人ひとりが世界の人間や将来世代、また、環境との関係性の中で生きていることを認識し、よりよい社会づくりに参画するための力を育むため、環境を始めとして、人権、福祉、地域経済再生などの課題に取り組む学習や活動を指す)。						
事業概要(5行程度以内。別添可)		①持続可能な開発のための教育に関する世界各地の地域拠点づくり:世界各地において、ESDに関わる学校、行政、企業、NPO等が互いに連携・協働する「持続可能な開発のための教育に関する地域拠点(RCE)」づくりのため、助言等を行うとともに、国連大学が主導する国際的な第三者委員会の審査を経て、基準を満たした地域を認定。 ②持続可能な開発に関するアジア太平洋地域における大学院レベルでの連携の強化「アジア環境大学院ネットワーク(ProSPER.Net(プロスパーネット))」:高等教育機関におけるESD活動を強化することを目的として、アジア太平洋地域における大学院レベルの持続可能な開発に関する教育と研究を推進するための大学院のネットワークづくりを進めている。参加機関間で共通に活用できるモデルプログラムの開発のための共同プロジェクト等を実施。						
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input checked="" type="checkbox"/> その他(拠出金)						
予算額・執行額(単位:百万円)				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		予算の状況	当初予算	150	155	155	160	160
			補正予算	0	0	0	0	
			繰越し等	0	0	0	0	
			計	150	155	155	160	160
		執行額	150	155	155			
執行率(%)	100%	100%	100%					
成果目標及び成果実績(アウトカム)		成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
		RCEやProSPER.Netの事業を通じて「我が国における『国連持続可能な開発のための教育の10年』実施計画(平成23年6月改訂)にも盛り込まれている地域におけるESDの実践や高等教育機関によるESD活動の推進を行うが、成果は、ESDの取組の質の向上やそれによる持続可能な社会づくりに取り組む人々の育成であり、これを定量的に示すことは困難であることから、指標の記載ができない。	成果実績	地域	—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績(アウトプット)		活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
		①世界各地のRCEづくりを支援することにより、当該年度において新たにRCEに認定した拠点数	活動実績(当初見込み)	地域	6	14	10	—
			()	(15)	(30)			
②当該年度において新たにProSPER.Netに参加した機関数	活動実績(当初見込み)	校	18	1	2	—		
()	(3)	(4)						
単位当たりコスト		— (千円/地域)		算出根拠	RCEに関する予算は、新たなRCEの認定についてのみ支出するものではなく既存RCEの質の向上に向けた取組等も含むものであることから、新たな認定に係る費用を特定することができないことから、単位当たりのコストを算出することはできない。ProSPER.Netに関する予算についても、新たな高等教育機関の参加に向けた取組のためだけに支出するものではなく、現在参加している機関間の共同プロジェクト等にも支出されており新たな機関の参加に係る費用を特定することができないことから、単位当たりのコストを算出することはできない。なお、国連大学において、RCEにおける取組の評価手法について研究を行っているところ。			
平成23年度予算内	費目		23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	経済協力開発機構等拠出金		160	160				
	計		160	160				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	—	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	活動実績について、当初見込みほどの実績となっていないことから、取組を更に加速する必要がある。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	△	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>毎年、国連大学(本部:東京)から提出される事業の実施計画により、拠出金の使途等を把握している(必要に応じ実施計画書の段階で調整)。また、関連の国際会議等に環境省職員が出席し、事業の実施状況を把握している。さらに、国連大学との間で定期的な意見交換及び随時の意見交換を行うとともに、進捗状況の報告を受けている。引き続き効率的・適正な予算執行に取り組むとともに、ESDの10年の最終年である2014年に向けて、進捗状況を踏まえつつ、着実に事業を進めていく。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		<p>持続可能な開発のための教育の10年構想事業の重要性を鑑み、現状を認める。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>旅費等に係る経費を精査するとともに、必要最低限な要求とすることとし、今後とも効率的な執行に努める。</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p><事業仕分け第1弾> (1-58) 国連大学拠出金(持続可能な開発のための教育10年構想事業費) WGの評価結果 : 予算要求通り 主な理由、コメント : ① 予算要求通りを結論とした。ただし、日本のイニシアティブがまだ見えていない、まだ弱いのではないかと疑問点、そして目的、効果に対する十分な説得力がまだ乏しい部分があるので、こうした点に十分留意しながら、今後の査定作業の中で精査してもらいたい。 ② 費用等に関する各国の負担を求めていくとともに、使途のチェックを行うべき。</p>			

環境省
160百万円

持続可能な開発のための教育に関する世界各地の地域拠点づくり及び持続可能な開発に関するアジア太平洋地域における大学院レベルでの連携の強化を内容とする事業を実施するため、拠出。



【拠出金】

A.国連大学
160百万円

持続可能な開発のための教育に関する世界各地の地域拠点づくり及び持続可能な開発に関するアジア太平洋地域における大学院レベルでの連携の強化を内容とする事業を実施。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につい
 て記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

A.国連大学			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
拠出金	拠出金	160			
計		160	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国連大学	持続可能な開発のための教育に関する世界各地の地域拠点(RCE)づくり及びアジア環境大学院ネットワーク(ProSPER.Net)づくり	160	—	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					